

## 令和5年5月 教育委員会会議録

開催日	令和5年5月25日(木) 10時00分～11時40分
開催場所	半田市役所 庁議室
出席委員	教育長 鈴川慶光                      委員 桂優子 委員 新美大                          委員 久米宏和 委員 正村日登美                      委員 堀崎隆資
説明のため出席した職員	教育部長 森田知幸                      学校教育課長 内藤誠 主任指導主事 鈴木康弘                      指導主事 高下隆史 給食センター所長 榊原秀夫                      生涯学習課長 青木美希 スポーツ課長 加藤計志                      図書館長 齋藤政樹 博物館長 関正樹                          南吉記念館長 遠山光嗣
事務局	学校教育課総務担当主査 羽根 広
協議事項	(1) 令和5年度半田市一般会計補正予算(市議会6月定例会提出議案)について (2) ナラウイングの利用料金改定について (3) 新学校給食センター建設工事請負契約等(市議会6月定例会提出議案)について
報告事項	(1) 寄附・後援願等について (2) 児童生徒(園児)の交通事故・問題行動等について (3) 令和4年度重点取組事項に対する取組及び評価について (4) 愛知駅伝半田市代表選手の募集について (5) 半田市図書館協議会委員の任命について (6) 各種事業について ①ロビーコンサート(半田市役所、雁宿ホール)の開催について ②「聴いて! 知って! 楽しむ! 大人の音楽授業(第1回)」の開催について ③「私はピアニスト♪ ～ステージでピアノを弾いてみよう～」の開催について ④ファミリープログラム 演劇「子犬のバーニー ～幸せを探して～」の開催について ⑤としよかんまつりについて ⑥新美南吉生誕110年記念展「童話に見る昔の道具」 ⑦第35回新美南吉童話賞作品募集について ⑧令和5年度「なんきち出前授業」の実施について ⑨新美南吉生誕110年記念「ごんぎつね」朗読発表会&読み語りコンサートチケット発売について
各課事務連絡	図書館

〈 開会 11時40分 〉

1. 前会の会議録の承認	(事務局) 4月定例会の会議録について概要説明 → 承認
2. 教育長報告	<p>(教育長)</p> <p>4月の定例教育委員会から今日までの行事等について。</p> <p>4月28日に半田市PTA連絡協議会の総会が開催された。昨年度から「保護者と教師が幸せになるPTA」として“幸せ”という言葉を使った目標を掲げ、PTAとしても応援していただける気持ちが伝わる工夫をしてくださっている。学校でも様々な場面で“幸せ”についてPRしているが、先日の学校訪問でも全体会において2名の方が“幸せ”に触れて話をいただいた。我々教育委員会を中心に、“幸せ”というキーワード、言葉を広めていくことがまず大事と思っている。</p> <p>29日には少年少女合唱団、30日には半田鉄道少年団の入団式総会が開催され、出席した。少年少女合唱団については、一時団員が減少して存続が危ぶまれたが、このところ団員が増えてきており、活発に活動している。去年に引き続き県のコンクールで金賞を取っていきたいとのことで、勢いを取り戻してきていると感じた。地域活動として、合唱も部活動改革後の文化的な活動の大きな受け皿の一つになっていただけるということで、ご協力もお願いしてきた。</p> <p>鉄道少年団は、団員が10名程度と少ないが、細々と活動を続けている。新たな団員の獲得に苦慮されているが、継続的に活動されている方たちが支えている。今後も活動をPRして行ってほしい。鉄道少年団と言いつつ、鉄道に関係することだけでなく、いろいろな場所でゴミ拾いをするなどボランティア活動もたくさんやっている。とても一生懸命活動されていた。</p> <p>5月3日に亀崎の潮干祭が今年度は盛大に行われた。神事から参加したが、天気も良く活気があった。</p> <p>11日には、10月に行われる山車まつりの市役所内部での支援に関する会議という位置づけである、はんだ山車まつり支援プロジェクト会議が開かれた。全庁的にこの山車まつりに向けて、役割分担して支援していく。教育委員会については、例年と同じく駐車場係ということで、山車を見る機会のない場所での従事となり心苦しいが、またよろしくお願ひします。</p> <p>12日に知多教科用図書採択地区協議会に参加した。4年に1回教科書の採択替えがあり、今回は、来年度から使用する小学校の教科書を選定するもの。今年度小学校の選定をし、来年度は中学校ということで、4年に1回こういったことが行われる。おそらく再来月の教育委員会の中で採択に関する承認についてお諮りと思う。教科書は、地区協議会、つまり知多半島5市5町が同じ教科書を使うということで、協議会で選んだ教科書を各市町が教育委員会に持ち帰って、各市町教育委員会で承認を得られれば、その教科書が知多半島5市5町で採択されるという手続きをきちんと踏んで進めていく。</p> <p>18,19日と全国都市教育長会議が北海道であり、参加した。学校教育、生涯学習、教育行政等についての事例研究の発表等があった。各地域の発表を聞いてきた</p>

	<p>が、どこも同じようなことで悩んでいる。教員不足は全国的にも同じような傾向であり、働き方改革でいろんな工夫をしている発表があった。</p> <p>発表では、例えば午前中に 5 時間授業をしてその後給食という取り組みをしているところがあった。近隣の地域では、2 限目と 3 限目の間に 20 分程度の長い休憩があるが、それを 5 分や 10 分にして 5 限目まで午前中に詰めてやり、給食後、30 分か 40 分ぐらいの長めの休憩を取って、6 限目を行う時間割。ただ、午前中に 5 時間は、なかなか子どもたちには厳しい感じがした。ねらいとしては、午後に余裕を持たせるというか、いろいろな取り組みもできるようにしているとのことだった。授業のときも週に 2,3 日あるが、例えば少し早めに帰る日を設けたり、休憩時間を含めて何か取り組みを実施したりとか、工夫して設定されている。ただ、半田市に置き換えて考えると、少し馴染まない感じがするという印象を受けた。そういった全国的ないろいろな発表を聴いてきた。</p> <p>23 日は、中高一貫教育の具体化検討部会ということで、半田高等学校に併設される附属中学校の具体化検討部会に参加した。今後、具体的な話を詰めていくということだった。どんな特色を出していくのか、保護者にどう知らせていくのかなどを検討していく。今は、一部正式な情報でないものまで保護者の間で噂されていて、塾においても活発に動き始めていると聞いているが、今後、11 月に保護者向けの説明会が行えるよう内容を詰めているところ。</p>
<p>3. 議題  <b>■協議事項</b>  1) 令和 5 年度半田市一般会計補正予算（市議会 6 月定例会提出議案）について</p>	<p>(学校教育課長)</p> <p>協議事項の(1) 令和 5 年度半田市一般会計補正予算について説明する。いずれも議案上程前の予算案となるので、情報の取扱についてはご注意願います。</p> <p>6 月 13 日(火)～23 日(金)の日程で開催される半田市議会 6 月定例会に議案上程する、教育委員会所管の一般会計補正予算案となる。</p> <p>まず、学校教育課の歳出。基金積立金については、ニツ坂カーニバル実行委員会様から頂いた現金寄附 441 千円について、学校教育課の所管する教育基金に積み立てたいとするもの。</p> <p>2 件目、幼稚園管理運営費 382 千円については、社会福祉基金の一部を取り崩し、これを財源に半田幼稚園と乙川幼稚園の通級指導教室で用いる室内遊具を購入するもの。</p> <p>次に、歳入。教育基金寄附金 441 千円は、ニツ坂カーニバル実行委員会様の意向により、イベント会場の一部である宮池小学校のグラウンド整備のためという趣旨でいただいたもので、先ほど説明したとおり、いったん教育基金に積み立て、今後、宮池小学校のグラウンド整備が必要となったときに、その財源として活用したいとするもの。</p> <p>社会福祉基金繰入金 382 千円については、先ほど説明した、半田幼稚園と乙川幼稚園の室内遊具を購入するため、社会福祉基金の一部を取り崩して歳入するもの。</p> <p>学校教育施設等整備事業債マイナス 4 億 6 千万円については、当初、乙川中学校の旧校舎解体とグラウンド整備事業の財源として予算計上していた借入金について、借入金によらない財源を市全体として確保することができたため、これを減額するもの。</p>

(生涯学習課長)

続いて、生涯学習課所管分の説明をする。

歳出、9款5項2目公民館費 7,370 千円 については、平地公民館に増築された建物を解体し、台風や大地震発生の際、近隣住民や通行者に被害が生じないよう早急に対応するもの。

増築部分については、かなり老朽化している。軒下と外装の木材が一部剥がれており、また、建物下の土留が崩れかけており、土嚢で対応しているが、土嚢の土が道路へ流出している。これらは、GW 中に降った雨と強風の影響を受けた結果であり、GW 明けに平地公民館長から連絡を受け、現場を確認して判明した。

公民館北側道路は、小中学生、高校生の通学路となっており、また、住宅も連なっているため、早急に対応し、危険性を除去する必要がある。

増築部分は、公民館建設後に平地1区が管理人室として建てたもので、公民館の壁を撤去して建築されており、公民館と管理人室が行き来できる状態。現在は、区の物置として使用されており、解体後の物品の保管方法等については、区と調整することで区長に同意を得ていること、解体工事についても区長に了承を得ている。

今回の工事は、増築部分の解体と併せて、公民館と増築建物との連結部の壁設置工事、解体後の土留工事を実施する。

以上、生涯学習課所管分の説明とする。

(教育長)

以上のように提案があったが、何かご質問ご意見あるか。

(新美委員)

二ツ坂カーニバル実行委員会からの歳入は、実行委員会のお金を預かるようなイメージか。また、この支出は、二ツ坂カーニバルで使う宮池小学校の駐車場整備として限定して使われるのか。

(学校教育課長)

まず歳入については、二ツ坂カーニバル実行委員会の方から半田市に対して寄附をいただいた。その寄附の目的が、宮池小学校のグラウンドを整備するため。

歳出の考え方としては、いただいた寄附金を今すぐ何かの事業に使うわけではなく、ひとまず学校教育課が所管する教育基金に貯金をするようなイメージ。基金積立をすると、このような歳出になる。将来的には、今回いただいた寄附金で、宮池小学校のグラウンド整備をするときに充てたいというもの。

(新美委員)

使用用途が限定されるものを、なぜ半田市が一般会計で受けるのか。実行委員会が管理していればいいのではないか。

(学校教育課長)

	<p>この寄附でいただいたお金は、実行委員会がイベントの駐車場として宮池小学校の駐車場を利用し、そこでの利用者からいただいた協力金である。それを実行委員会が管理しており、過去には実行委員会が工事費を負担して宮池小学校のグラウンド整備をしたこともあった。ただし、実行委員会自体が、イベントのときはいざ知らず通常からしっかりとした組織体制があるわけではないため、お金の管理について課題となっていたことから、半田市へ寄附の提案があり、それを受けて、半田市へ寄附をいただき、必要に応じて整備をするという整理をした。</p> <p>(教育部長)</p> <p>考え方としては二つか三つあると思うが、一つは実行委員会側がきちんとお金の管理をして、全てそこで完結するという考え方。</p> <p>二つ目。この寄附いただいたお金は、駐車場利用者の方から協力金という名目でこのグラウンド整備のために集めているお金であり、これは小学校のグラウンド整備のために使うので、集まったお金を学校へ寄附して、学校が管理していくという考え方。</p> <p>最後が、実行委員会から市に寄附して、市で必要なときに使ってもらうという方法。</p> <p>今回、一番きちんとしたお金の流れになるのは、この寄附の方法ではないかということで、半田市に寄附をして、市の一般会計に予算計上して管理していくこととした。</p> <p>(教育長)</p> <p>それでは事務局の提案どおりとしてよろしいでしょうか。</p> <p>(教育委員)</p> <p>異議なし。</p> <p>(教育長)</p> <p>では、このような補正予算の提案をしていくこととして承認するので、委員のみなさまもご承知おきください。</p>
<p>2) ナラワウイングの利用料金改定について</p>	<p>(スポーツ課長)</p> <p>ナラワウイングは、成岩中学校敷地内にある総合型地域スポーツクラブハウスで、「半田市総合型地域スポーツクラブハウス条例」において、その利用料金等が定められており、今回の利用料金の改定は条例に基づき、施設の指定管理者である NPO 法人ソシオ成岩スポーツクラブから申し出があったもの。</p> <p>改定理由は、長引く物価高騰により施設の維持管理に係る金銭的負担増に伴い、受益者負担の観点から施設使用料について見直しをしたいとするもの。改定時期は、教育委員会での承認の後、一定の周知期間後の 10 月 1 日を予定している。</p> <p>利用料金は、一般が 740 円から 900 円に、小中学生が 300 円から 400 円に引き上げるもの。この改定額の根拠は、令和 4 年度の光熱費高騰の上昇を参考としている。記載のとおり令和 4 年度光熱費は指定管理料中の光熱費を大きく上回ったため、指定管理料とは別に光熱費高騰対策補助金として記載の補助金を交付してお</p>

り、その補助金額を含めた施設維持管理費用を光熱費高騰分を加味しない指定管理料で除した係数を今回の利用料金の改定の率としている。

なお、「半田市総合型地域スポーツクラブハウス条例」では、利用料金の上限を「1,040円」としており、今回の改定においても条例改正は不要であり、市議会の承認も不要となる。

所管課としては今回の料金改定は、申請者の安定した運営のため、やむを得ないものと考えている。

(新美委員)

我々教育委員にもすごく責任がある議題。値上げを我々が承認するという理解でいいか。

(スポーツ課長)

教育委員会が承認することとなる。

(新美委員)

利用する人たちは、現時点で全く知らないのか。

(スポーツ課長)

現時点では決定しておらず公表していないので、まだご存知ない。

(新美委員)

例えば、電気代など高騰していたものがある程度元に戻ったときには、利用料金は下がるのか。

(スポーツ課長)

今回は物価高騰が大きく起因しているので、例えば社会情勢により非常に物価が安くなるというようなことがあれば、その段階で利用料金を改定することについても考える。

(新美委員)

物価高騰というのは、電気代だけのことではないということか。

(スポーツ課長)

いわゆる消耗品など、様々な分野で物価が高騰しているので、それに対する料金改定となる。

(正村委員)

740円が900円に改定されるのは、けっこう高くなったなと感じる。算出根拠として888円を四捨五入して900円に、360円を400円にしているが、利用する側からの

視点だと一気に上がったと感じる。もう少し抑えられないか。これによって利用者が減る可能性もある。

以前、ふれあいプールが料金改定したときは、それほど大きな値上がりではなかったと記憶しているが、それでもやはり話題にはなっていた。そのときに、今後は利用を減らそうかなという声も聞いたことがあったので、今回の改定がどの程度の影響が出るかはわからないが、いきなり 900 円にしないほうが理解されるのかなと思う。

確かに物価高騰により、施設の運営が大変になっているのも理解できるが、もう少し利用者に歩み寄った着地点はないか。金額として、いきなりこれを提示されると、利用されている方からすると、ある程度の驚きとして受け止め、声を上げられる方もいるのではないか。今はみなさんが物価高騰で苦しまれているところなので、なにか考えられないか。

(スポーツ課長)

この 900 円と 400 円という金額は、現金の処理上、使いやすいという金額に設定されているが、これは指定管理者であるソシオが考えられてきた数字であり、ソシオも、この利用改定によって利用者が減ってしまえば、逆に自分の首を苦しめることになることは理解している。

ただし、利用者に対するプログラムなどが充実しているので、そういったことなど全体を考えた上で、経営をうまく安定させることができると見込んだ金額設定とされている。

また、利用者の多くは会員として 1 人あたり年会費を 2 万円少々負担しているが、会員ではないビジターの方が、その都度、今回提案している 1 回あたりの利用料金を払っている。人数的には少なく、金額的にも年間の上昇分が 50 万円前後増えると見込んでいるのみ。

ただ、それであっても 50 万円増えることによって、施設の維持管理に充てたいという意味合いでソシオから提案をいただいているので、普段から多く利用されている会員は、会費の中に含まれているので影響は少ないのではないかと考えている。

(新美委員)

今の話だと、大多数として施設を利用している会員、会費約 2 万円の人たちの値上げはないが、ビジターの人たちだけから、この電気代などの高騰分を徴収するという考えになるのか。

(スポーツ課長)

決してそうではない。会員においても、会費の中から施設使用分という形で法人の中で会計処理をしていると思うが、その割合が、例えば 1 回あたり 500 円なのか、あるいは月に 1,000 円なのかという明確な負担割合は承知していない。

今回は、単発の利用者としてその都度お金を払っている方に対しての改定が、この金額として、表に現れてしまうという形になる。

(新美委員)

物価高騰により経費がかかるのは理解できるが、それが平等に負担することになっていくのかが分からない。例えば会費が 20,000 円だったのが 22,000 円になるのであれば、今回の 1 回あたりの利用料金の改定も納得できる。しかし、会費は据え置きで、この利用料金だけ高騰の影響を受けるように見えてしまうので、賛同しかねる。

(スポーツ課長)

会員の会費の改定についてはまだ確認できていないが、新美委員がおっしゃるように、会員かどうかにかかわらず、利用される皆さんがその高騰分の費用を負担することが基本だと思うので、このことに関しては、こちらからソシオへ検討するよう意見として伝える。

(桂委員)

会員の会費も上がっていると思う。改定の案内を見た記憶がある。

確認だが、会員の会費はソシオが決定するものなので議題には上がらないが、そうでない方の利用料については、条例で定められているのでここで協議しているという理解でいいか。

(スポーツ課長)

お察しのとおり。法人会計である、会員の会費の単価や配分は、桂委員が仰られたように、把握することになっていない。利用料については、冒頭で説明したように条例で規定されている。

今、ソシオの H P で今年度の 4 月から会費が上がっていることが確認できた。

当初は、ソシオからも、この料金改定について 4 月から改定したいという話があったが、利用料の改定には、教育委員会の承認と、ある程度の周知期間が必要だということを説明し、改定時期を半年延ばした。一方で、会費は今年度の前期分から上がっている。

(教育部長)

会費について説明する。家族会員は、年間 24,000 円だったものが 30,000 円に、親子会員と個人会員は、18,000 円だったものが 24,000 円になっている。一人あたりで考えると 2 割程度は上がっているといえる。

(スポーツ課長)

やはりプログラムが充実しているので、スポーツをするお子さんだけでなく、テニスや健康づくりのプログラムなどに通いたいという高齢者の方もいらっしゃるの、そういった料金体系になっていると考えられる。また、近隣市町から来られる方も一定数いる。

(教育長)

では、この利用料金改定の件についてはよろしいですか。

(委員)

	<p>異議なし</p> <p>(教育長)</p> <p>では、提案の通りとさせていただきます。</p>
<p>3) 新学校給食センター建設工事請負契約等(市議会6月定例会提出議案)について</p>	<p>(教育部長)</p> <p>6月定例議会への提出議案について、給食センターの関係でもう1件あるので説明する。</p> <p>新給食センター建設工事の契約の関係になるが、大きな金額の契約については「半田市議会の議決に付すべき契約及び財産の取得又は処分に関する条例」において、議会の議決に付さなければならないこととなっているので、議案として提出するものとなる。</p> <p>新給食センター建設の関係で、建物の建設工事、電気工事、管工事、空調工事及び厨房工事、この5種類の契約がいずれも議案とするべき金額の契約となる。</p> <p>今現在は、入札が終わり、仮契約を業者と結んでいる状態。この6月議会で議決されると正式に仮契約を結んでいる業者と本契約をすることになり、この契約が締結されると工事が始まることとなる。</p> <p>(教育長)</p> <p>今の説明についてご質問ご意見はありますか。</p> <p>(教育委員)</p> <p>異議なし。</p> <p>(教育長)</p> <p>では、提案通りとする。</p>
<p>■報告事項</p> <p>1) 寄附・後援願等について</p>	<p>(学校教育課長)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・3団体より寄附。</li> <li>(内訳：現金440,450円、シュレッダー・ラミネーター、焼き菓子)</li> <li>・2件の共催事業を許可。</li> <li>・14件の後援名義を許可。</li> </ul>
<p>2) 児童生徒(園児)の交通事故・問題行動等について</p>	<p>(指導主事)</p> <p>令和5年4月25日～5月24日の交通事故・問題行動等について。</p> <p>交通事故：2件</p> <p>5月16日(火) 1件</p> <p>5月20日(土) 1件</p> <p>問題行動(被害)等：2件</p> <p>4月28日(金) 1件</p> <p>5月16日(火) 1件</p> <p>交通事故以外の事故：1件</p>

	<p>4月25日(火) 1件  学校等被害：なし  不審者情報：なし</p> <p>(正村委員)  児童生徒の問題行動の件。学校の支援体制や児童の特性について確認したい。</p> <p>(指導主事)  学校の支援体制にも問題があったと考え、教育委員会から指導した。また、児童については特別な支援を要すると学校側も認識していた児童であり、担任を始めとする支援体制や指導方法についても継続して指導していきたい。すでに学校としても、保護者にも説明し、一緒に支援していく体制を整えている。</p> <p>(桂委員)  児童本人も苦しさを感じていると思う。学校内で自分の心を落ち着けられる場所があると未然に防げることもある。  また、保護者も、担任の先生も、それぞれだけ支援したり考えたりするのは負担が大きと思うので、一緒に抱えてもらえる人、相談できる人がいるといい。</p> <p>(指導主事)  クールダウンできる場所については、本人が落ち着ける決まった場所があったが、改めて本人や保護者と一緒に考えるとともに、学校側の支援体制としても担任だけでなく4役なども関わられる体制を整えている。</p> <p>(桂委員)  本人や保護者はつらくなってくると悪いほうに考えてしまうことも多いので、こうしてみんなで支えてるよというメッセージが本人にも保護者にも伝わると、少しでも心が軽くなると思う。</p> <p>(堀崎委員)  相談員の立場からアドバイスしたい。  この件については、構造化、活動を行いやすくするための環境を整えることができていると思う。ここは何をすることということが、明確になるといい。やはり環境をきちんとしあげないと、繰り返し起こってしまう。まずは構造化について勉強していただいた方がいいと思う。</p> <p>(教育長)  ありがとうございます。今のご意見をぜひ参考にしながら、学校とも情報を共有して対応していきたいと思っておりますので、よろしくをお願いします。</p>
--	---

<p>3) 令和4年度重点取組事項に対する取組及び評価について</p>	<p>(主任指導主事)</p> <p>昨年度末に、令和4年度のめざす子ども像と重点取組事項について、幼稚園、小中学校がそれぞれ自己評価をした。その自己評価を4点満点で点数化し、集計して、項目ごとに幼稚園全体、小中学校全体の評価を出した。Aは「十分達成している園・学校が多い」、ポイントで3.5以上、Bは「概ね達成している」、ポイントで3.0以上、Cは「不十分なところがある」、ポイントで2.5以上、Dは「課題が顕著である」、ポイントで2.5未満である。</p> <p>(1)は「ふるさと半田、地域」に関する項目。幼稚園では、地域の人材や環境などを活用したり南吉記念館の見学や南吉作品の読み聞かせを行ったりすることで、成果を上げている。小中学校では、コミュニティ・スクールの充実においては、学校運営について学校運営協議会から意見・助言を受け、熟議を通じた取組を進めている。郷土学習については、コロナ禍においても、感染症対策を施しながら、地域へ出かけたり地域の方とともに学ぶ機会を設定したりしている。中学校では、コロナ禍において活動時間の確保と訪問先との調整に苦慮することもあり、活動を縮小せざるを得なかったこともあったようで、工夫・改善の必要性を感じている。特色を生かした学校づくりについては、保護者の参加もできるようになり、保護者や地域の理解・協力を得ながら特色ある学校づくりを進めることができた。</p> <p>(2)は「命など、知徳体の徳」にあたる項目。幼稚園・小中学校ともに、様々な活動を通して自他のかけがえのない命を大切にす気持ち高められるよう、真摯に取り組んでいる。実体験や関係機関の協力が成果に結びついている様子が見える。さらに、各園・各校では、友達同士の認め合いや教員からの称賛、さらには、誰にでも相談できる雰囲気づくり、教員同士の情報交換などにより、子どもたちが安心して生活できる園や学校づくりに努めている。</p> <p>(3)は「キャリア教育など、知徳体の知」にあたる項目。幼稚園では、自由遊びやごっこ遊び、係活動をとおして、気付きや疑問、充実感や達成感を大切にす、将来への夢や憧れの気持ちを膨らませることができた。また、校庭めぐりなど様々な機会をとらえて小学校へ行ったり就学に向けて期待をもてるように話題にしたりすることで、小学校入学に期待をもてるように努めた。小中学校では、「キャリアパスポート」の活用やタブレット端末などのICT機器の活用をとおして、「キャリアABCD」の獲得、「主体的・対話的で深い学び」の実現に努めることができた。一人1台のタブレット端末の活用も進み、対話活動の充実にも努めている。また、特別な支援を要する児童生徒への支援については、組織的・計画的に行うことができるよう努めている。教員のさらなる力量向上のため、研修の充実が必要であるとする。</p> <p>(4)は「体、生活習慣など、知徳体の体」にあたる項目。幼稚園では、「早寝・早起き・朝ごはん」の大切さを保護者に伝え続けたことで、家庭の協力を得ることができた。また、子どもたちの興味に合わせた戸外遊びや運動遊び、リズム遊び、栽培・収穫・調理活動などの実体験をとおして、心身ともに健康な子どもの育成に努めている。小中学校では、校内で共通理解を図った上で、日常的に基本的な生活習慣の指導を行ったことで、成果を上げている。また、市図書館など学校外の諸団体との連携や各校での工夫により、読書や文化活動に親しんだり体力の向上に努めたりすることに努めている。</p>
-------------------------------------	--

<p>4) 愛知駅伝半田市代表選手の募集について</p>	<p>(スポーツ課長)</p> <p>第 16 回 愛知駅伝半田市代表選手の募集について説明する。</p> <p>愛知駅伝は、2005 年に開催された愛知万博を記念し、2006 年から毎年 12 月の上旬に万博会場の跡地である「モリコロパーク」で開催されている。新型コロナの影響を受け、令和 2 年、3 年と 2 年連続で中止となったが、昨年、3 年ぶりに開催された。</p> <p>大会は、パーク内の全 9 区間のコースで、小学生から一般までの選手達で県内の市町村対抗戦で開催されている。</p> <p>今年度は、令和 5 年 12 月 2 日（土）に、従来と同じ方式で開催する予定となっている。半田市も毎年参加しており、今年も大会に向け、選手を募集するもの。市報や HP で選手募集をする。</p> <p>代表選手の選考は、半田運動公園で 6 月から始まる選考練習会を経て選出する。</p> <p>(久米委員)</p> <p>毎年、応募は多数あるのか。</p> <p>(スポーツ課長)</p> <p>一般の方は少ないが、小中学生は市内のスポーツクラブからを始め、たくさん参加してくれている。</p>
<p>5) 半田市図書館協議会委員の任命について</p>	<p>(図書館長)</p> <p>図書館協議会は、図書館法に基づき設置され、図書館の運営に関して館長の諮問に応じるとともに、図書館奉仕について館長に意見を述べる機関になる。</p> <p>委員については、半田市立図書館条例第 9 条第 3 項の規定により、学校教育及び社会教育の関係者等から半田市教育委員会が任命することとされている。</p> <p>現在の委員は、令和 4 年 6 月 1 日から、2 年間の任期でお願いしているところだが、今回、4 名の方が変更となる。名簿の右欄外に「(新任)」の記載がある方になるが、それぞれの所属団体から推薦があった方を委員として任命する。</p> <p>なお、任期については、図書館条例第 9 条第 4 項の規定により、前任者の残任期間である令和 5 年 6 月 1 日から 6 年 5 月 31 日までの 1 年間となる。</p>
<p>6) 各種事業について ①ロビーコンサート (半田市役所、雁宿ホール)の開催について</p>	<p>(生涯学習課長)</p> <p>本日 12:20 から庁舎 1 階ロビーで開催する。今回は、パンダさんとすずきのやすひとさん、アコースティックギターとアコーディオンのコラボ。お二人とも市内の方。市役所でのロビーコンサートは 2 回目となり、前回 2 月開催時は議会と重なったこともあり、議員始め非常に多くの方々が来られた。</p> <p>6 月 10 日は篠塚美華さんのピアノ演奏。この日は雁宿ホールで開催する。</p>

<p>6) 各種事業について ②「聴いて！知って！楽しむ！大人の音楽授業（第1回）」の開催について</p>	<p>（生涯学習課長）</p> <p>本年度、新たに開催する事業。これまで幼稚園保育園、小学校で開催してきたセントラル愛知交響楽団の出前授業を大人向けにアレンジして開催するもので、セントラルの山本雅士さんを講師として、オーケストラで使用される楽器を深く知ろうをテーマに音楽授業を行う。トランペット、ファゴット、フルート、ホルン等の楽器紹介や生演奏は、子ども達にとって大好評だったが、大人にとっても楽しいのではないかと考え、今年度やってみることにした。会場は、授業の雰囲気を出すため、さくら小学校音楽室とした。</p> <p>11月には第2回目の授業として弦楽器編を開催する予定。</p>
<p>6) 各種事業について ③「私はピアニスト ♪ ～ステージでピアノを弾いてみよう～」の開催について</p>	<p>（生涯学習課長）</p> <p>雁宿ホールの大ホールで使用するスタインウェイのピアノを多くの方々に気軽に弾いていただく機会を提供し、ホールの活用を促し、また、音楽に親しむ人材の育成に寄与する事業。今回は7月と8月のお知らせだが、毎年、年4回実施している。</p> <p>たっぷりコースは、これまで1枠60分の設定だったが、短い時間で弾いてみたいという要望を受け、昨年度から30分コースを設置したことにより枠が全て埋まる状態となり、人気の事業となっている。毎回申し込まれるリピーターも多く、大会前の練習の場としても活用されている。</p>
<p>6) 各種事業について ④ファミリープログラム 演劇「子犬のバーニー ～幸せを探して～」の開催について</p>	<p>（生涯学習課長）</p> <p>愛知県芸術劇場と連携した親子向け観劇会。市単独では招聘することができない質の高い海外作品を、県芸と連携することで、市民が低額で鑑賞することができる。オーストラリアから来ていただき、各市町の会場を回る。半田市では8月2日（水）に開催される。</p>
<p>6) 各種事業について ⑤としょかんまつりについて</p>	<p>（図書館長）</p> <p>7月1日（土）、本館2階の第1会議室・閲覧室等にて「としょかんまつり」を開催する。</p> <p>たくさんの人に図書館ボランティアの活動を知っていただくとともに、図書館に親しみを持っていただくことを目的に開催するもので、午前・午後の2部制とし、各回ともに定員40名、事前申込制で実施する。午前の部は3歳以下のお子さんとその保護者が対象で、わらべ歌、手遊び、パネルシアターの上演など。午後の部は年齢等の制限は設けず、読み聞かせやストーリーテリングなどのほか、工作や録音体験も楽しめる。</p> <p>6月9日（金）から16日（金）まで、本館窓口又は電話で申し込みを受け付ける。参加費は無料、応募者多数の場合は抽選とする。</p>
<p>6) 各種事業について ⑥新美南吉生誕110年記念展「童話に見る昔の</p>	<p>（博物館長）</p> <p>6月24日（土）から9月3日（日）までの間、新美南吉生誕110年記念展「童話に見る昔の道具」を開催する。</p> <p>大正2年に生まれた新美南吉は、令和5年で生誕110年を迎える。これを記念</p>

<p>道具」</p>	<p>して、半田市立博物館では南吉の童話と民具をテーマとした企画展を開催する。</p> <p>新美南吉は、田舎の暮らしを書いた作品を多く残した。それらの話に登場する暮らしの道具や、仕事道具が物語に深い印象を与えている。また、一つの道具を主題として書いた話もあり、南吉作品では道具が重要な役割をもっている。</p> <p>本展では、南吉作品に関わりのある昔の道具を中心に展示し、当時の暮らしや作品の背景を紹介する。</p> <p>期間中の7月29日（土）には、関連イベントとして「昔の道具を使ってみよう」を開催する予定。展示を通じて昔の道具を知ったうえで、実際に道具を使う体験をすることで昔の暮らしをより身近に感じてもらいたいと考えている。</p>
<p>6) 各種事業について ⑦第35回新美南吉童話賞作品募集について</p>	<p>(新美南吉記念館長)</p> <p>応募期間は6月1日（木）から9月10日（日）まで。自由なテーマで書いていただく自由創作部門と南吉オマージュ部門がある。自由創作部門は一般の部、中学生の部、小学校高学年の部、低学年の部に分かれている。南吉オマージュ部門は好きな南吉童話をひとつ選び、それに通じるようなテーマで別の作品を作っていただくというもので、こちらは小学生から大人まで同じ土俵で競う。</p> <p>昨年の応募数は1,841編。そのうち市内小中学生の応募は190編で、板山小学校の4年生がひとりだけ佳作に入った。やはり、小中学生の応募数の底上げが必要と考える。</p> <p>先日の校長会でPRをお願いさせていただき、今後、チラシを各校に配布するので、ぜひ今年も市内の多くの子どもたちに童話を書くことにチャレンジしてもらいたいと考えている。</p>
<p>6) 各種事業について ⑧令和5年度「なんきち出前授業」の実施について</p>	<p>(新美南吉記念館長)</p> <p>「ごんぎつね」を学習する4年生を対象に、当館の学芸員が学校を訪問し、南吉の人生や、「ごんぎつね」の舞台・書かれた背景などについてお話しするもの。また火縄銃やはりきり網など物語に出てくる昔の道具を持っていき、実際に見て触れていただく。コロナ前は毎年全校から呼んでいただいていたが、一昨年も昨年も8校だった。ぜひ全校にうかがえるよう、こちらも先日の校長会で利用を呼び掛けさせていただいた。</p>
<p>6) 各種事業について ⑨新美南吉生誕110年記念「ごんぎつね」朗読発表会&amp;読み語りコンサートチケット発売について</p>	<p>(新美南吉記念館長)</p> <p>新美南吉記念館では、生誕110年のメイン記念事業として、4月から市内の小中学生24人が「ごんぎつね」の朗読に取り組んでいる。南吉の110回目の誕生日である7月30日には、その成果を披露する発表会を行い、あわせて子どもたちを指導する山根基世さんはじめ、プロの朗読家や演奏家による読み語りコンサートを開催する。</p> <p>会場はアイプラザ半田の講堂。関係者分を引いて定員500名と設定したので、本当に聴きたい方にお越しいただけるよう、500円だけご負担いただくことにした。チケット販売は6月10日（土）より新美南吉記念館、半田市立博物館、アイプラザ半田のほか、チケットぴあでも取り扱う。</p>

	<p>なお、山根さんと一緒にご出演いただけるのは、「その時歴史は動いた」などでおなじみの元 NHK アナウンサー松平定知さん、音楽はリュートという中世ヨーロッパからルネサンス、バロック時代に愛好された、日本の琵琶のような楽器の演奏をお楽しみいただく。</p> <p>また、例年、記念館のエントランスホールで行っている誕生日の式典は、この「ごんぎつね」朗読発表会、読み語りコンサートと一緒に。教育委員の皆様には後日、コンサートまで含めてご招待の案内をさせていただくので、ぜひご参加ください。</p>
<p>事務連絡 (図書館)</p>	<p>(図書館長)</p> <p>すでに、5月18日(木)中日新聞知多版で紹介されたが、子どもの読書活動推進の一環として、6月1日(木)から、市内小中学校の児童・生徒を対象に、学校タブレットで「はんだ電子図書館」が利用できるようになる。</p> <p>通常は貸出券の登録が必要となるが、今回は、これとは別に、全ての児童・生徒及び先生を対象に利用者ID・パスワードを配付した。朝読や調べもの学習などで活用していただき、子どもたちが学校や自宅で、より気軽に読書に親しむ機会が増えてくれればと考える。なお、通常の電子書籍は他人が借りている場合は、貸出中で借りられないが、今回の利用にあわせて、同時貸出ができる読み放題パックの児童書255点を新たに購入したので、朝読などで活用し、読書に親しんでいただきたい。</p>
<p>教育委員からの 意見提言等 (1)</p>	<p>(久米委員)</p> <p>来月に入ったら各学校でプールの授業が開始されるということで、私も地元の中学校のプール清掃の手伝いに行くことになっているが、プールの授業でも用意されるAEDの設置状況について、中学校は2台、小学校は1台ということではないか。</p> <p>(指導主事)</p> <p>プールサイドに設置しているということではないが、中学校は2台、例えば正面玄関と柔剣道場であったり体育館の近くであったりと、場所は学校によって必要とするところに設置している。</p> <p>プールの時期には、その授業があるときにそのうちの1台を移動させている学校が多いと思う。小学校は1台設置されている。これも学校によるが、地域の人に使えるような正面玄関などに設置していることが多い。いずれも、プールサイドに設置という形ではない。</p> <p>(久米委員)</p> <p>小学校に2台設置するという考えはないか。</p> <p>(教育長)</p> <p>小学校へ2台設置することについて、要望も毎年出てきている。</p> <p>(久米委員)</p> <p>地域のPTAからも強い要望があるが、なぜ入らないのか。</p>

	<p>(教育部長)</p> <p>毎年、校長会の要望によりAEDの追加の話はいただいており、私達も、何度も予算を計上しようとしてきたが、財政部局を納得させる説明ができていない。今後も、予算化していきたいという考えはある。</p> <p>理由の一つとして、AEDのことは健康課が中心となって市全体のバランスを見て、どの地域、どの施設に、どれだけ設置するかを考えている。そんな中で、小中学校、幼稚園だけ他の施設と比べて多く設置するのは難しいという考えがある。</p> <p>ただ、必要性は認識しているので、何とか予算確保できるよう努力する。</p> <p>(久米委員)</p> <p>この時期だけレンタルしてプールに設置するなど、方法はあると思う。ニュースで小さな子がプールで亡くなったと聞くと、何かしらの対応策はもっとあってもいいと感じた。ぜひお願いしたい。</p> <p>(教育長)</p> <p>ご意見ありがとうございます。要望していきたい。</p>
<p>教育委員からの 意見提言等 (2)</p>	<p>(堀崎委員)</p> <p>スクールソーシャルワーカーについて。半田市では一人だが、各学校からの要望が多い。</p> <p>今、学期に1回、情報交換をつくし学園とやらせていただくが、課題の多い家庭があり、その余波で子どもたちが落ち着かないということを知る。それも関係しているのか愛着障がいを持った子どもが多いと感じるが、教員が家庭に関わろうと思っても難しい。</p> <p>そういったときにスクールソーシャルワーカーが必要なのだが、今の体制だととても忙しくて手が回っていない。理想は5中学校区に一人ずついると保護者対応が十分にできていると思うが、せめてもう一人でも増やしていただけると、学校も頼みやすくなると思う。</p> <p>(教育部長)</p> <p>ご意見ありがとうございます。一昨年度までは成岩中学校に配置するような形としていたが、昨年度からは市役所に配置して、市役所からいろんな学校に行く仕組みとした。そうしたところ、多くの要望が出ているという現状がある。学校もスクールソーシャルワーカーのあり方、頼り方といった理解が進んだこともあると思う。</p> <p>相談の流れとしては、学校からまずスクールソーシャルワーカーに相談が入って、そこから次の適切な専門の機関に繋げるということで、非常に重要な役割になっているが、そのスクールソーシャルワーカーが足りないということがボトルネックになって上手に回っていないというのが実情。</p> <p>これについても、昨年度から増員の予算要望をしているところだが、そこに至っていない。来年度の予算計上に向けて努力する。</p> <p>(学校教育課長)</p>

	<p>補足となるが、学校教育課に異動する前は地域福祉課に所属しており、地域福祉課ではコミュニティソーシャルワーカーを令和3年度から3人でスタートさせた。今年度から5人に増やした経緯があるので、コミュニティソーシャルワーカーにも協力を求めていきたいと思っている。</p> <p>また、スクールソーシャルワーカーについては、財源として活用できる国庫補助や県の補助金がないか研究しているところである。</p> <p>(堀崎委員)</p> <p>コミュニティソーシャルワーカーをもっと学校に宣伝し、もっと活用してもらったらどうか。</p> <p>(学校教育課長)</p> <p>当初はそのように動いてもらっていたが、思いのほか学校側の需要が大きかったため、本来のコミュニティソーシャルワーカーとして想定していた介護や障がいの方への対応が手薄になってしまった。今は、なんとか時間を作って学校にも来てもらっている状況。</p> <p>(堀崎委員)</p> <p>そうすると、やはりスクールソーシャルワーカーを増やしてもらわなければならないと思う。よろしくお願いします。</p> <p>(教育長)</p> <p>他市に比べても少ないと思うので、増員できるよう努力する。</p>
<p>教育委員からの 意見提言等 (3)</p>	<p>(桂委員)</p> <p>以前、この会議の場で、特別支援学級に籍にある子が交流学級に行くことに関して週の半分以下でないといけないという通知が出ていて、半田市ではどういった運用になるのか伺ったことがある。そのときは、半田市には対象となる子がいないということと、今後1人1人に合わせた支援を考えたときに対象となる子がいたとしても、臨機応変に運用して対応していくと聞いた。</p> <p>先日、他市の保護者と話をする機会があったが、そのお子さんはこれまで特別支援学級に籍を置いて、国語と数学以外は交流学級でみんなと一緒に授業を受けていたとのことだったが、昨年度の終わりに、来年からはその形はもうできず、交流学級で学べるのは半分以下ですと言われてたそうだ。その保護者は、訴えても変わらないからと、そのまま受け止めてしまったそうだが、半田市はそうではないと思っている。</p> <p>ただ、先生方は市町を関係なく異動されるので、例えばその先生が半田市に来られたら、それが当たり前だと思って交流学級で学べるのは半分以下ですと対応されるのではないかと心配になった。</p> <p>それと同時に、「半田市はその子に合わせて運用しているので一律で交流学級は半分以下という決まりだけではない。その子にとって、交流学級での学びが必要であれば、そこは柔軟にやっていきます」と、元々半田市にいた現場の先生方が言ってくださるのかも不安になった。この場では柔軟に対応するとのことだったが、この考え方が現場にも浸透</p>

	<p>していると思っていいか。</p> <p>(主任指導主事)</p> <p>他市の事例に驚いているが、その子が交流学級に行くのか行かないのか、行くとしてど れだけ行くのかということは、担任と保護者だけで決めるものではなく、その学校の校内教 育支援委員会や、個別のいろいろな事例を検討する校内委員会といったところで、組 織として決めて進めているという認識でいる。</p> <p>交流学級は 2 分の 1 までという通知が出たときにも話し合ったが、やはりこの通知は 現場の実態に合わないよねということで、一人一人の実態に合わせた形で柔軟にやって いこうと確認した。断言はできないが、県もその考え方になっていると思う。</p> <p>いずれにしても、半田市としては一人一人にしっかりと向き合っ、理解をして、進めて いってくださいと校長会を始め、機会を捉えて話をしている。それと相まって、今おっしゃ られたように他市町から異動してきた先生が一人で判断してその子へ支援をするというこ とがない状況を我々は作りたいと思って、組織で判断して動いてくださいということもいろ いろな場で話をしているし、そうであってほしいと思って、そういった考え方で支援、助言、指 導をしている。</p> <p>(教育長)</p> <p>このように説明がありましたが、よろしいでしょうか。</p> <p>(主任指導主事)</p> <p>補足で説明する。そうはいつでも、やはりいろんな事案が起こる。特別支援教育につい ても、先ほど教育重点目標の昨年度の反省として研修の充実が必要と申し上げたが、 研修を市単独で実施することは難しいので、県の研修を紹介して、できるだけ多くの先 生に研修を受けてもらいたいと考えている。</p> <p>それがどんな成果となって表れてくるのかは、本年度末なのかもう少し先なのかかわら ないが、そういったことは引き続き考えていきたいし、実際に取り組んでいる最中。</p> <p>(教育長)</p> <p>ありがとうございます。他はよろしいでしょうか。それでは、いろいろご提言いただいたこ とについては、今後にぜひ生かしていきたいと思います。</p> <p>他にも、何か気になるようなことがありましたら、当局の方にお知らせください。当局の 方で検討しながら学校現場に生かしていきたいと思いますので、今後ともよろしく願い いたします。</p>
<p>次回開催等</p>	<p>(事務局)</p> <p>6 月定例教育委員会 日時：6 月 29 日 (木) 10 時 00 分～ 場所：半田市役所 4 階 庁議室</p>

	(教育長) 5月定例教育委員会を終了する。
--	--------------------------

〈 閉会 11時40分 〉